

学力向上に係る学校の取組

平成16年度に小学校,中学校のそれぞれ5校を訪問して得た情報をもとに,各学校の学力向上に係る取組としてまとめました。学力向上のための資料として,役立てていただきたいと思います。

内 容

1	学習指導法の工夫・改善	・・・129
2	教育課程の編成の工夫	・・・131
3	学習習慣・生活習慣付け	・・・131
4	学習環境の整備に関する取組	・・・132
5	その他	・・・133

訪問学校：小学校 5 校・・・宮崎市立小松台小学校，延岡市立恒富小学校
高鍋町立高鍋東小学校，西都市立穂北小学校
都城市立丸野小学校

中学校 5 校・・・宮崎市立宮崎東中学校，南郷町立南郷中学校
都城市立志和池中学校，高原町立高原中学校
日之影町立高松中学校

1 学習指導法の工夫・改善

小学校

目標の明確化

- ・国語，算数に関する教科指導の重点目標，具体的手立て，数値目標の設定と学期ごとの評価
- ・学年ごとの重点的指導事項の設定（3，4年では読書力向上のための「読書預金通帳」の作成，4年では漢字力・計算力向上を目指した「漢字プリントの音読」の取組，6年では家庭学習での基本的な学習の習慣付け）

少人数指導・個別指導

- ・朝の時間（8:15～8:35）の活用，（校長・教頭・専科の教諭も加え，個別指導を行う）
- ・少人数指導の授業の充実と具体的実践（例～4年生算数　じっくりグループ　しっかりグループ　ぐんぐんグループ）
- ・個別指導の充実（昼休みや放課後の時間を利用する）
- ・個人差への対応（学習の速さ，学習スタイル，学習到達度に対応する）
- ・児童が楽しく授業に臨む授業づくり
- ・TTによる指導

繰り返し学習

- ・算数の授業における演習時間の確保
- ・各教科における復習の徹底

評価

- ・児童の「自己評価」を取り入れた授業の工夫・改善（授業後に「自己評価」を実施する）
- ・単元の形成的評価の実施（単元テストを確実に行う）

分析・研究

- ・「基礎学力調査」の活用（3年生と5年生で実施される本県「基礎学力調査」の結果分析による，児童に十分身に付いていない基礎的・基本的な学習内容を把握する）
- ・観点別到達度学力検査（CRT）及び全国標準診断的学力検査（NRT）結果分析と重点的指導内容の整理
- ・演習問題の作成等の工夫（NRT検査の分析をもとに作成する）

家庭学習の指導

- ・国語科の音読，漢字練習の充実
- ・「算数トラの巻」（算数に関する基礎的・基本的な事項をまとめた小冊子）の作成と活用

その他

- ・学校独自の学習過程の作成と1単位時間のねらいの明確化（問題解決的な学習を基本にした学習過程を作っている）
- ・学社融合の授業実践（図工や家庭科において外部講師を招聘し，学力向上の視点で行う，知識と生活体験との結び付きを図り，課題を設定して自ら学ぶ姿勢をはぐくむ等）
- ・算数の思考力を育てる指導（「図形の面積」の学習において，既習の知識を基に，台形やその他の多角形の面積の求め方を考えさせる）

中学校

目標の明確化

- ・目標を明確にした，問題解決的な学習や体験的な学習

少人数指導・個別指導

- ・数学，英語における少人数指導（1クラスを2つに分けた，2人の教師が指導する）
- ・第3学年数学における少人数指導（3学級で教頭を含め，4人体制で指導する）
- ・英語における習熟度別学習の実施（生徒本人の希望を原則として，ベーシックコースとアドバンスコースの2コースつくる）
- ・数学と英語における習熟度別の少人数指導

【数学における習熟度別の少人数指導の進め方の例】

- ・学習内容に応じ，各單元ごとにグループ編成を行う
- ・単元の導入では一斉指導，その後，既習事項のテストを基に，生徒がコースを選択する
- ・下位のコースの人数を少なめにし，一人一人に対してよりきめ細かな指導を行う
- ・生徒が自分にあったコース選択ができない場合，教師との面談によってコースを変更する
- ・定期テストや單元テスト等の結果を基に，個に応じた指導を充実させる

授業教材等の工夫

- ・教師自作のワークシート（英語の言語活動において，生徒が見通しをもって学習に取り組む）
- ・小テストの実施（学習内容の定着に重点を置いてテスト問題を作る）

分析・研究

- ・全国標準診断的学力検査（NRT）の分析と指導の重点化
- ・学校独自の「学力に関する調査」（過去数年間の県立高校入試の問題から抜粋したものを使う）
- ・数学の基礎学力に関する調査（小学校3年生から中学校1年生の内容を盛り込んだ算数の調査問題を2年生で実施し，1，3年生も参考のため1クラス実施）
- ・SP表を作成と活用（どの学年でつまづいているかを分析し，その正答率が8割を切っている生徒への，夏休みなどを利用した個別指導（到達度に応じたプリントを作成）の実施）
 - SP表：テストの各問について正答であれば1，誤答または無解答であれば0と，それぞれ得点を与えて（生徒数）×（問題数）高得点順に並べ替えた得点一覧表にS（STUDENT）曲線，P（PROBLEM）曲線を引いたもの
- ・「学力向上に関するアンケート」（生徒向けのアンケートで，学力向上につながる指導法を研究する）
- ・諸テスト（本県の基礎学力調査・学力診断テスト・定期テスト）の活用（全体的な分析，教科部会での詳細な分析を行い，その後の指導の工夫・改善につなげる）

研究授業の実施

- ・ 教師全員による研究授業の実施と授業研究会の実施

家庭学習の指導

- ・ 「成績カード」の作成（国語，社会，数学，理科，英語の单元ごとの評価及び授業への取組の様子を保護者に伝える）
- ・ 家庭学習の指導の工夫（ノートに問題集やワークの答えを書いて自己採点し，同じページに連絡と生活の記録を書く。担任はそれを毎日点検し，コメントを書く。）

その他

- ・ 基本的な学習習慣の指導と教科指導に当たった重点実践事項の徹底
- ・ 学校独自の「学習の手引き」の作成と活用（4月当初の全校オリエンテーションで，各教科の目標や学習の仕方について「学習の手引き」を使って細かく指導）
- ・ 各種コンクールの実施（漢字，計算，英単語等の基礎学力の定着をさせる）
- ・ 観察・実験活動の充実を図った理科学習の推進（グループの数を増やし，一人一人の観察・実験活動を充実させる。）

2 教育課程の編成の工夫

小学校

校時程（週時程）の工夫

- ・ 週2回の朝の時間（8:15～8:35）「すくすくタイム」の設定（計算ドリルや百マス計算を行う）
- ・ 週4回の朝の時間（8:05～8:20）「スキルタイム」の設定（計算と漢字書き取りの復習を行う）
- ・ 20分間の「チャレンジタイム」の設定（毎週水曜日の5校時前の清掃時間をカットした業間の時間に実施する）
- ・ 「個別指導の時間」の設定（放課後に指導を行う）
- ・ 放課後「教材研究の時間」の設定（週2回，教材研究を行う）
- ・ 「ドリル学習の時間」の設定（全校一斉に5分間の学年に応じた，読み・書き・計算の繰り返し学習）

評価

- ・ 学期ごとの教師の自己評価（成果・問題点・改善点を分析して，次学期の教育課程を検討するための基礎資料として活用）

その他

- ・ 体験活動の充実（保護者や地域の方々との連携を図り，学校農園で稲を栽培し，餅つきをして，食するまでを計画し，実行している。）

中学校

校時程（週時程）の工夫

- ・ 「ステップタイム」の設定（月曜日の6校時に漢字，計算，英単語の復習を行う）
- ・ 高得点者の表彰（計算や英単語，漢字コンクールを実施し，表彰する）
- ・ 「読書の時間」の設定（毎週月曜日から木曜日，朝自習（20分間）の後半10分間に実施）
- ・ 学校独自の「学力向上対策テスト」の実施と活用（テスト実施は，授業で振り返り学習を行っている。また，結果を保護者にも連絡し，子どもの学習状況を把握してもらうようにしている。）

3 学習習慣・生活習慣付け

小学校

- ・「家庭学習の手引き」の作成及び活用（低・中・高学年別に作成している）
- ・「読書に関するアンケート調査」の実施及び分析（読書活動の実態と学力の関係をみる）
- ・家庭学習の仕方，内容の書き方の指導（第3学年2学期後半より実施している）
- ・復習及び個別指導の徹底（第5学年における国語と算数の当該学年までの学習内容のプリントを作成し活用している）
- ・第5学年国語，算数の復習プリントの作成（繰り返し宿題で課し，定着していない児童には個別指導を徹底させている。）
- ・学年に応じた「学習習慣に関する指導項目」の設定（発表の仕方，話の聞き方，ノートを使い方，準備すべき学用品等）
- ・家庭との連携を図った「読書活動」「書く活動」「計算活動」の推進
- ・「学習のしつけ9か条」の設定と指導の徹底
- ・小学校と合同で「学びの手引き」を作成し，授業で活用
- ・小学校と連携しての「学習の手引き」（教科の学習の進め方）作成とその活用

中学校

- ・基本的な生活習慣の指導の徹底と全校オリエンテーションの場における基本的な行動様式（学校生活のきまりとルール，通学の心得や清掃への取組など）の説明
- ・全教育活動を通じた学習への習慣付け（「授業を受ける態度」「姿勢」「返事」「声の大きさ」「発表の仕方」等）に関する指導事項の焦点化と指導の徹底
- ・教科等の指導に当たっての学習訓練の徹底
- ・生徒会を中心とした元気なあいさつ運動の推進と礼の仕方の指導
- ・朝自習後の「朝の一斉黙想」の実施（生徒会活動として行い，落ち着いた雰囲気での一日をはじめている。）
- ・「帰りの会」を充実させるための「黙想タイム」の設定（静かな状態から帰りの会を始める。）
- ・記録ノート「あしあと」の活用（家庭学習充実のため，定期テストに向けた目標や計画を立てさせ，定期テスト後には振り返らせる）

4 学習環境の整備に関する取組

小学校

- ・基礎的・基本的な事項等を紹介する「算数コーナー」の設置
- ・学年縦割りによる清掃活動の推進
- ・児童の学習に関する作品の掲示・展示の充実（児童の作品の一つ一つに教師が温かい励ましのコメントを入れている。）
- ・清掃指導の徹底による教室，廊下等の整備（ゴミ等が全くない）

中学校

- ・習熟度別指導を特別教室で行う教科に関連した掲示物の充実
- ・「家庭における学習についてのアンケート」の実施による，家庭での状況把握及び保護者への意識付け
- ・教室や廊下等に行事予定や各自の目標等を掲示
- ・「授業の受け方のポイント」（姿勢，返事など）の全教室への掲示
- ・オープンスペースを活用した開放的な学習環境づくり

5 その他

小学校

- ・ 6年間の国語科の校内研究（表現力の育成，音声言語能力の育成を中心として）の成果を生かした集会活動等の取組
- ・ 国語科学習の研究における基礎的・基本的な内容の確実な定着と読書活動や読み聞かせの推進による言語活動の充実，言語環境の整備
- ・ 学期1回の地区小中合同連絡協議会の開催による学力向上に向けた取組の検討
- ・ 中学校区ごとの学力向上プロジェクト会議（小学校も入る）の設置と活動の推進
校長間の意見交換による児童生徒の学力の実態把握と指導方法の工夫・改善
小中合同の「研究授業」の実施
- ・ 学力向上のための全職員体制での取組
（日常指導推進班，授業改善推進班，家庭学習推進班の3つの班の研究実践）
- ・ 校内の学力向上プロジェクトの体制づくりとプロジェクトを中心とした実践

中学校

- ・ 基礎学力を「読み・書き・計算」に「聞く・話す」を加えたものと定義し，「読み」「書き」について，指導を重点化
- ・ 「学力向上対策会議」を年間3回開催（小6児童と中1生徒の学力の実態に関して，小学校と中学校が情報交換を行い，各学校での学習指導に生かしている。）
- ・ 夏休み期間における5日間のサマースクールの実施（7月までの学習内容が十分に定着していない生徒，夏休みの課題が期限内に提出できなかった生徒（夏休みの課題提出は8月20日），自主的に学習したい 生徒を対象に実施）
- ・ 学力向上に関連する研究主題の設定と，全職員の協力体制づくり
- ・ 学習指導の充実を目指した小中合同の「学力向上対策会議」（年間3回）の実施
- ・ 保護者への情報提供（定期テスト，単元テストの時期等の広報）や，家庭での学習の習慣づけ等の協力の呼びかけ

